

新しい年が、重症心身障害児・者の皆さまやそのご家族にとって幸せな一年となりますようお祈り申し上げます。
障害が重いゆえに障害者自らが発することは困難が多いけれど、一人の人として社会の一員として重症心身障害児・者と呼ばれる人たちが地域で当たり前に暮らせる事を願ってやみません。



新年 あけましておめでとーございませす

今年も本会は行政はじめ多くの方々と手を繋ぎ、重症心身障害児・者とその家族の幸せに向かって歩み続けてまいります。
本年もご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長 山村 寿子



「支える会」事務局

〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
育徳コミュニティセンター2階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長 山村 寿子
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556
〈郵便振替〉 00930-9-695998

支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>
メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp
◎様々な御意見・御質問や情報をメールや掲示板にお寄せ下さい。



OTK
支える

No.91

大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児者を守る会
大阪支部

守る会三原則

★決して争ってはいけない、争いの中に弱いもの生き残る場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超えろ
★最も弱いものを一人もれ無く守る

支える会 セミナー
「スウェーデンの重度の障害児者の暮らし」

例年開催しております「支える会セミナー」につきまして、この度は、スウェーデン・クオリティ・ケア（SQC）のEmil Ostberg（イェミル・エストベリ）氏が来日するに当たり、スウェーデンの重度の障害児者の暮らしについて講演をしていただくことになりました。昨年来日される予定でしたが、体調を崩され延期となっております。この度、来日されるということで企画いたしました。関心のある方はこの機会に是非ご参加ください。



日時：平成27年 2月 8日（日）
13:30～15:30（受付12:30～）

会場：ゆらっとステーション 多目的ホール
（大阪市住吉区万代東1丁目3番19号）

講師：Emil Ostberg（イェミル・エストベリ）氏
（スウェーデン・クオリティ・ケア〈SQC〉）

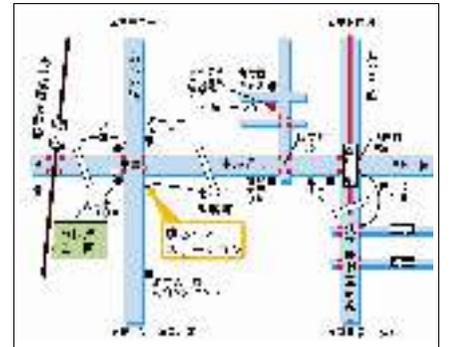
参加費：500円（当日支払い）
※大阪府重症心身障害児・者を支える会
会員は無料

主催：大阪府重症心身障害児・者を支える会

申込：氏名、住所、連絡先、会員の有無、所属を明記の上、FAX、またはメールにて申込み下さい
（問合せ）大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局
TEL：06-6624-2555

FAX：06-6624-2556

メール：osaka@sasaeru.or.jp



*市営バス「播磨町」徒歩1分
系統 62 63 64 67（あべの橋より）
系統 54A-B（西田辺より）

編集後記

新年早々、事業者に支払われる介護報酬マイナス改定に暗雲が垂れ込めました。介護サービス質の低下や人材不足などに繋がらないか心配です。
物申すことが困難な本人のために当事者である私達が日々明るく、笑顔が溢れ、未来に希望のもてる年となるよう皆が手をつないで力を合わせましょう！

編集委員一同

編集・責任者
（事務局）〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
育徳コミュニティセンター2F
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556
運営委員長 山村 寿子
郵便振替口座 00930-9-695998
大阪府重症心身障害児・者を支える会

発行所

大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒530-0054
大阪市北区南森町二二二-21505
定価 五〇円
（会員の方は会費の中に含まれています）

前の頁のつづき

- ・入所施設の生活環境の改善等
- ・想定される今後の動き
- ・障害福祉サービス報酬改定検討
- ・「障害支援区分」の見直し
- ・「障害支援区分の見直し」による影響
- ・重症心身障害児者地域生活モデル事業

等でした。これらの内容は「両親の集い」9月号（第684号）に記載されていますので御一読下さい。

基調講演 「重症児（者）が地域でいきるために」
社会福祉法人 和歌山つくし会
和歌山つくし医療福祉センター 院長・施設長 飯塚 忠史 氏

和歌山つくし医療センター（136床） 2008年新築統合
1968年 岩出整肢園（50床）と1976年 桃山療護園（50床）を統合
利用率 100%（136名） 利用者平均年齢 48歳 最高齢 88歳
ショートステイ 12床 平均利用率80%（約10名） 呼吸器装着 2名まで
平成25年4月1日から26年3月31日まで（1年間）
利用者実数（年間）合計71人 出身地 和歌山 48人 大阪 23人

・重症児（者）を取り巻く最近の問題

1. 医療的ケアの増加と超重症児（者）
2. 在宅重症児（者）の増加

① NICU出口問題（2006年）

② 重心施設側の問題 入所施設の満床と入所者の高齢化

・大阪府の在宅重症児の増加：2004年から増加が続いている。

・母の来訪と超重症児の心拍数

お母さんが来訪されると、超重症児（目が見えない、耳が聞こえない）の心拍数がグラフより低下しているのが分かる。お父さんが来訪されても心拍数は、低下しない。

・重症児（者）がいきる

家族とともに生きる。社会の人々の中で生きる。自然の中で生きる。教育を受けて生きる。地域（社会）で生きる。

重症児（者）も外出して風に当たるのが良い。

和歌山つくしセンターの現状

入所者（136人）の出身地：和歌山県内110人（81%） 県外26人（19%）

家族が1時間以内に車で来られる方が多い。

ショートステイの予約状況

合計利用日数（年間） 2-165（月平均14日）日

利用日数（中央値） 17日 / 年 連続利用期間 2日-33日

長期利用者（4人）の理由

母（保護者）の手術・入院 3人 10日、29日、33日

母の次子出産 1人 15日

“重症児（者）が地域でいきる”体制の整備に向けて : ネットワークをつくる入所施設を中心としたネットワークの構築等（日本自閉症協会）

施設入所と地域生活を対立的に捉えるのではなく、行動障害の悪化や（高齢障害者の）親亡き後の生活支援の必要性も踏まえて、地域における障害児支援システムの中に入所施設を位置づけ、関連する機関との機能的なネットワークづくりを検討すべきである。（Y・T）

全国重症心身障害児（者）を守る会 近畿ブロック研修会参加報告

平成26年度近畿ブロック研修会が和歌山で開催されました。

日 時 平成26年11月8日（土）午前10時40分～午後3時00分

会 場 和歌山ビック愛1F大ホール

開会挨拶、来賓挨拶、来賓紹介、本部・支部長紹介、中央情勢報告、基調講演と続き無事終了しました。



中央情勢報告 全国重症心身障害児（者）を守る会
副会長 水津 正紀 氏 事務局長 宇佐美 岩夫 氏

障害福祉施策の動向（重症児者を中心に）について説明

1. 障害児支援の在り方に関する検討会
2. 障害福祉サービス等報酬改定の検討
3. 障害支援区分の見直し
4. 重症心身障害児者の地域生活モデル事業

・法律を作ったら、3年後に見直しをして、不具合があれば改定していく。

・重症児施設の入所者は当初、大人は考えていなかった。それで18歳以上は、特例で認めた。しかし実際に入所者の7割以上が、大人である。

・いろいろな重症障害の人が出てきて、法律と実態が合わない。

守る会の意見

1. 相談支援事業の課題
2. 在宅支援施策の充実
3. 医療型障害児入所施設（重症児施設）の支援について
4. 強度行動障害児者についての施設支援の在り方
5. 医療入院（緊急時）への対応
6. 家族支援について

今後の障害児支援の在り方に関する検討について

- ・入所施設の機能の活用
- ・具体的な機能
- ・重症児者等にかかる在宅医療等との連携
- ・コーディネーター配置の具体的検討
- ・医療と福祉の連携 + 福祉担当者の育成
- ・重症心身障害児者支援センター（仮称）の検討

次の頁につづく

大阪府重症心身障害児・者を支える会
平成26年度集団指導療育キャンプ

平成26年11月22日(土)・23日(日)、香川県高松市にて障害をお持ちの方を対象にした療育キャンプ(財団法人JKA競輪補助事業)を実施しました。

社会医療法人同仁会 耳原総合病院小児科 藤井 健一先生をお招きし、指導のもと在宅の重症心身障害児(者)が、保護者やボランティア、専門スタッフ、地域の施設・事業所の職員の方々と共に、地域で生きる力と将来への希望を獲得するため、交流と親睦を図るとともに療育についての情報交換の場として位置づけ開催しました。

晴天に恵まれ、事故にもならず、誰も体調もくずさず帰って来ることができ、ドクターをはじめ皆様のおかげとお礼申し上げます。



ここ二年、(ご本人の)体調が悪くキャンセルが続きましたが、今回は参加できて嬉しく思います。

※この文章は、アンケートの一部を当方が打ち直したものです。

親も高齢になって、一人で我が娘を見るのが不安でした。皆様が親切に手伝って下さり有難く楽しめました。

オムツや着替え、食事の用具、防寒対策などなど、大量の荷物の用意は、後退してきた体力や体調を考えると、年々大変になってきています。

なかなか行けない遠方へ色々な方々の協力により可能になることが素敵な事実だと思います。ただ、バスの移動時間が長かったのが気になります。

普段出来ない体験が楽しく出来ました。息子のような重度障害者を安全に旅行させていただくための皆さんの準備、配慮に感謝しています。

日常生活とは全く違った環境と景色がとても良かったです。空気が美味しく感じました。バスの乗り降りも楽で良かったと思います。家族さん同士の交流の機会としてとても良いことだと思います。

色々な方々のされる事を見させていただいて、これから自分がすべき事など勉強させていただきました。

他の参加者の皆様と情報交換や語らいを楽しんでいたが、保護者の皆様からも楽しかったと声をいただきました。

堺市立重症心身障害者(児)支援センター『ベルデさかい』を見学して

10月23日に行って来ました。平成24年4月に開所された『ベルデさかい』は、堺市健康福祉プラザ内に設けられています。

道路を挟んで大仙公園あり、少し歩けば仁徳陵があります。屋上からの景観は清々しいものでした。広大な敷地にあるので、廊下はゆったりしていて車椅子は置いてなく静かだなあと感じました。全体に広く感じ、プレイルームや各部屋の天井にフックが備え付けられてあり便利だろうなあと思いました。プールが地下にあり予約すれば入れるのも魅力でした。しかし、医師と看護師・生活支援員(介護士)が不足していると聞き、人手不足はどこも共通していると感じました。

娘が入所している『フェニックス』は、大阪市内にあり敷地は『ベルデさかい』より狭いですが、近くに長居公園があります。駅に近く利便性は他に類を見ない施設と自慢です。環境としては似たりよったりかなと思いました。

大阪府と大阪市には、在宅で医療的ケアを必要とする重症児者が多く生活をしています。また、医療的ケアがなくても重度障害者の高齢化と、介護をしている親の体調不良や高齢化で在宅生活が難しくなっているのに預けられる施設が不足しています。

在宅生活であれ施設入所であれ人材不足が深刻です。我々当事者が、行政に大きく声を上げなければならぬと強く思いました。(S・Y)



支える会「クリスマス会」

平成二十六年十二月二十日(土)、早川福祉会館に於いてクリスマス会を行い、総勢63名の参加がありました。

「ユキちゃんマイちゃん」のフルート・ピアノ演奏 ミニコンサートから始まり、フェニックス家族会の皆さんによります合唱と続き、テレビアニメでブームとなりました「ようかい体操」を参加者を募り踊りました。

その後、参加者のご紹介タイム。続いて、大阪ゆとりライオンズクラブ様のギター演奏と絶妙なトークの熱いライブとなり、最後は、大阪ゆとりライオンズクラブ様のビンゴゲームで大いに盛り上がりました。

今年も小川ご夫妻が造って下さった大きなクリスマスツリーのバールンが会場の雰囲気よりいっそう高め、楽しい一日となりました。皆さん有難うございました。

福祉新聞2014年(平成26年)12月15日発行 第2696号に全国重症心身障害児(者)を守る会、「50周年誌を発刊」の記事が掲載されました。

大阪支部は入所・在宅を問わず本人を中心として豊かに生きてゆくことを目指しています。今後も守る会創立50周年の親の会活動を礎にして活動していきます。

福祉新聞より抜粋



生きる姿 社会動かす

北誌「豊かな生活に感謝」

重症児者を守る会
50周年誌を発刊



「生きる姿 社会動かす」は、全国重症心身障害児(者)を守る会が、今年50周年を記念して発行した年誌だ。この年誌には、全国各地から寄せられた、障害児(者)とその家族の生活の姿や、社会の動きが紹介されている。また、障害児(者)の権利や、社会の役割についても詳しく解説されている。この年誌は、障害児(者)の生活の姿を多くの人に知ってもらい、社会の動きを促すための一助となることを目指している。

重度訪問介護従業者養成研修 (統合課程)のご案内 [土日コース] 5日間

大阪府指定番号 N o 3 1

地域において重度の障害がある方が生活していくために、多様なニーズに基づく、多岐にわたる介護サービスが不可欠です。本講座は、重度障害者の多様なニーズに適切に対応した介護サービスを提供できるヘルパーの養成を行い、人権に対する理解を深め、介護技術及び専門知識等について習得することを目的に開講します。

開講日: 平成27年2月7日(土)、15日(日)、
21日(土)、22日(日)、3月1日(日)
[土日コース] 5日間

会場: ゆらっとステーション
(大阪市住吉区万代東1丁目3番19号)
費用: 15,000円 (テキスト代、消費税含む)
定員: 20名

申込先: 支える会研修センター (主催者)
(ゆらっとステーション内)
TEL 06-6690-5360
FAX 06-6696-9955
E-mail: center@sasaeru.or.jp
詳細: http://www.sasaeru.or.jp/houjin/houjin_osirase.html



研修
情報

情報

大阪きょうだいの会 第25回例会 『きょうだいカフェ』のご案内

開催日 平成27年1月25日(第4日曜)
午後1:15開場、1:30~4:30
内容 私を語る~自己紹介と近況など~

私たちは「障害」のある兄弟姉妹とともに歩む(きょうだい)のセルフヘルプ・グループです。例会では、様々な人生を背負った仲間たちがそれぞれの体験や気持ちを率直に語り、素直に耳を傾け、悩みや苦しみを分かち合い、共感し、学びあいます。

参加者は6人~10人前後で、年齢層は20代~60代と幅広く、どちらかというとな女性の割合が多いです。毎回、初めての参加者もあり顔ぶれは少しずつ変わります。

気楽な(しゃべり場)ですので、一度のぞきにきてください。そして、仲間たちから(元気)をもらって帰ってください。

会場 クレオ大阪西 (会議室1)
▼住所=大阪市此花区西九条6-1-20 ▼交通=JR・阪神「西九条」駅より徒歩3分
対象 概ね18歳以上の障害児者の兄弟姉妹 / きょうだい支援に関心のある人
参加費 1,000円程度(会場費・資料代を人数割) / お茶は各自持参
申込み 不要。当日会場へお越しください。 ※例会終了後...自由参加の交流会を予定

《第26回例会》 3/15(第3日曜) 午後1:15開場、1:30~4:30、JR「京橋」「桜ノ宮」
「大阪城北詰」から徒歩10分の都島区民センター(会議室3)

問合せは、世話人(090-2384-9368 溝上)まで

ひとりだけで苦しむのはよそう
ひとりだけでボソボソ言うのはよそう
なぜならそれは皆の苦しみだから
“生きていて本当に良かった。”と
きょうだいと障害者がともに言える
社会を創ろう!
(全国きょうだいの会 昭和38
[1963]年発足時の呼びかけ文)

会費納入のお願い

<問い合わせ>
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556
<郵便振替>
00930-9-69598
大阪府重症心身障害児・者を支える会

既に納入がお済みの方には
あしからずお許しを賜ります
ようお願い申し上げます。



研修
情報

大阪重症心身障害児者を支える会 大阪府指定番号 N o 1 6 7 介護職員初任者研修(旧ヘルパー2級研修)のご案内

介護が必要な方に多様なニーズに応じた介護サービスを提供できるヘルパーの養成を行い、人権に対する理解を深め、介護技術及び専門知識等について習得することを目的に開講します。

開講日: 平成27年 2月 2日(月)~
3月23日(月)
[月水金コース]
会場: ゆらっとステーション
(大阪市住吉区万代東1丁目3番19号)
費用: 50,000円 (テキスト代、消費税含む)
定員: 20名

申込先: 支える会研修センター (主催者)
(ゆらっとステーション内)
TEL 06-6690-5360
FAX 06-6696-9955
E-mail: center@sasaeru.or.jp
詳細: http://www.sasaeru.or.jp/houjin/houjin_osirase.html

